



京都アカデミアウィーク 2018

新丸の内ビルディング 10階



ホームページ
<http://www.kyoto-af.jp>

京都の文化・芸術・科学等に関心のある方々に、さらに一步踏み込んだ京都の魅力をお伝えすることで、「だから、京都行こう。」と思っていただけるよう、京都ならではの、知的で刺激いっぱいイベントを各大学が連携して実施します。

会期

10 / 1 Monday
 10 / 2 Tuesday
 10 / 3 Wednesday
 10 / 4 Thursday
 10 / 5 Friday

「京都アカデミアフォーラム」in丸の内とは

京都外国語大学、京都光華女子大学、京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都女子大学、京都精華大学、京都橘大学、京都美術工芸大学、同志社女子大学、京都大学が連携し、京都の文化・芸術・科学について「学術面から情報発信する場」として広く一般に認知されることを目指し、京都の魅力や価値を高めることを目的とした場の総称です。

京都アカデミアフォーラム in 丸の内 新丸の内ビルディング10F



問い合わせ先
 京都アカデミアフォーラム事務局(南)
 Tel : 075-753-9722
 Mail : liaison@saci.kyoto-u.ac.jp

参加申し込みURL
<http://kyoto-aw2018.peatix.com>



続きは裏面へ

京都アカデミアウィーク 2018

講演会へのご参加は事前申込制になります

参加申し込みURL: <http://kyoto-aw2018.peatix.com>

※プログラムについては一部変更の可能性があります。
最新情報はホームページでご確認下さい。
<http://www.kyoto-af.jp>

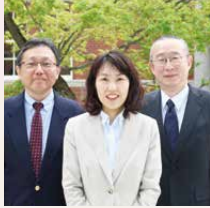


講演紹介

14:00~16:00 定員:120名 対象:一般 3大学連携企画

京都の女子大学から発信する食と健康

主催: 京都光華女子大学、同志社女子大学、京都女子大学



京都の3女子大学の管理栄養士養成学科の教員が京都の健康にまつわる食について下記テーマで発信します。

- 京都の健康食品～豆腐
吉川 秀樹 京都光華女子大学 健康科学部部長 教授
- だしに対する味覚感受性と健康
神田 知子 同志社女子大学 生活科学部 食物栄養科学科 教授
- あなたは健康?不健康?
一本当の健康づくりの秘訣を教えます!-
宮脇 尚志 京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 教授・栄養クリニック長

10/1

Monday

14:00~16:00 定員:120名 対象:一般

京都の近代と工芸産業

主催: 同志社女子大学



平光 睦子
同志社女子大学
生活科学部 人間生活学
科 教授

明治という新しい時代をむかえ、京都では、舎蜜局、伝習生、博覧会、疎水など、さまざまな事業をおして工芸産業の近代化が推進されます。そして、その取り組みは明治28年に京都・岡崎で開催された第四回国内勲業博覧会で花開きます。この博覧会を中心に、京都における工芸産業の近代化の一端を紹介し、明治期の工芸品の魅力を探ります。「明治150年」の今年、当時の京都人たちの革新への挑戦に触れてみたいと思います。

10/2

Tuesday

14:00~16:00 定員:120名 対象:一般

能と和歌一和の心と様式

主催: 京都光華女子大学



河村 晴久
京都光華女子大学
能楽部講師
能楽師



朝比奈 英夫
京都光華女子大学
キャリア形成学部
キャリア形成学科 教授

能が六百年以上にわたって演じ継がれてきたのは、いつの時代の人をも魅了してきたからに他なりません。多くの和歌をひく能では、「万葉集」以来の文芸の流れの中で言葉は研ぎすまされ、わずかな言葉で豊かな世界が描かれます。自然観、人間観など、和の心の精華を、所作の実演も織り交ぜ、和歌、能の様式美とともにひもときたいと思えます。

10/3

Wednesday

14:00~16:00 定員:120名 対象:一般

京都工芸繊維大学美術工芸資料館の活動紹介

主催: 京都工芸繊維大学



並木 誠士
京都工芸繊維大学
美術工芸資料館長
デザイン建築学系 教授

京都工芸繊維大学美術工芸資料館は、前身校である京都高等工芸学校が明治35年(1902)に開学した当時、教育資料として購入された美術工芸品を収蔵・管理し、教育・研究に活用し、一般に向けて展示・公開している。収蔵資料は、ヨーロッパのポスターや工芸品、建築図面など多岐にわたる。その収蔵資料の数々を紹介し、また、平成23年(2011)美術工芸資料館が中心となって発足した京都・大学ミュージアム連携の活動についても紹介する。

10/4

Thursday

14:00~16:00 定員:120名 対象:一般

京都の怪談、アジアの妖怪

主催: 京都精華大学



堤 邦彦
京都精華大学
人文学部 総合人文学科
文学専攻 教授

古都京都には平安、中世の歴史にからめた古典怪談が少なくない。たとえば、墓の下で出産した幽霊の哀話を語る「子育て幽霊館」の伝承があるが、そのルーツは日本独自のものではなかった。中国・東アジアの冥婚説話の流布は、中国文化圏だけではなく、仏教国として知られる東南アジア・タイの妖怪伝承(ビー)のなかにも、難産で死んだ女が幽霊となる「メー・ナーク」(ナーク母さんの話)のような例もある。京都の怪談から出発し、幽霊話のアジア的な分布と宗教的背景、ならびに文芸化、フィクション化の軌跡について考えてみたい。

10/5

Friday

18:00~20:00 定員:120名 対象:一般

京都の一途 第3回 こだわりのものづくり

主催: 京都市立芸術大学



驚田 清一
京都市立芸術大学
理事長・学長



一澤 信三郎
株式会社
一澤信三郎帆布
代表取締役社長

京都市立芸術大学では、驚田清一学長をホスト役に、京都のものづくりや伝統文化・芸能などのさまざまな分野で活躍される方をゲストにお迎えし、多くの方に京都の文化に触れていただき、より深く感じていただくための連続講座「京都の一途」を開催します。今回は、京都で良質な天然帆布を使ったかばんを作り続ける「一澤信三郎帆布」の一澤信三郎社長をゲストにお迎えし、「こだわりのものづくり」をテーマに、職人の丁寧な手仕事によるものづくりに光を当ててまいります。

18:00~20:00 定員:120名 対象:一般

受ける日本人、繋がる日本人:今、世界に伝えたい受信力

主催: 京都外国語大学



ジェフ・バーグランド
京都外国語大学
国際貢献学部
グローバル観光学科長・教授

東日本大震災後の日本人の行動パターンを異文化コミュニケーション学から見て解説する。他の国では避難所で水の配給時に取り合いになるが、日本はけが人や妊婦、年寄りなど弱者で水が必要とする人たちを優先する気遣いをする。これは日本人の受信者責任型コミュニケーションによるものである。日本人は世界一の受信力を巧みに使い、平和を作っていくためには受信力が欠かせないものだと言います。

18:00~20:00 定員:120名 対象:一般

メタルズ! in KYOTO - 伝統から先端へ -

主催: 京都美術工芸大学



村上 隆
京都美術工芸大学
副学長

伝統工芸が息づく京都は、先端技術をリードする先進の地でもある。千年の都で培われた「ものづくり」のシステムは、京都盆地の四季折々の風土の中で熟成された。「ものづくり」に欠かせない金属[メタル]をキーワードに、「ものづくり」の街 京都を、歴史的、地域的に縦横に俯瞰し、京都の伝統文化に迫ってみたい。

18:00~20:00 定員:120名 対象:一般

京都企業一歴史と空間の産物

主催: 京都大学



徳賀 芳弘
京都大学
副学長(大学基金・同窓会担当)
経営管理大学院 教授

京都には世界に伍する「隠れたチャンピオン」企業群が存在します。本講演では、京都企業のユニークさを、日本の他地域の企業及び米国のMBAテキスト型企業との比較を通して、お示ししたいと思います。また、明治維新以降の京都再興政策の中で形成された京都伝統工芸社会の価値観が現在も継承されており、それが京都企業のユニークさに繋がっていることを、歴史的・空間的視点からお話します。伝統工芸社会の価値観の企業社会での実現が経済的な合理性を有していることは面白いと思います。

18:00~20:00 定員:120名 対象:一般

世界遺産仁和寺の歴史について

主催: 京都橋大学 仁和寺 僧侶対談



増淵 徹
京都橋大学
文学部歴史学科
教授



大石 隆淳
総本山仁和寺
執行



朝川 美幸
総本山仁和寺
学芸員

兼好法師の徒然草の一説「仁和寺にある法師」でも有名な世界遺産仁和寺。真言宗御室派の総本山であり、仁和4(888)年に創建されたこの寺院は、たくさんの歴史を刻んできました。本講座では、僧侶・学芸員・歴史研究者それぞれの目線から、仁和寺の歴史を紐解いていきます。